

(写真右：吉田謙さん 写真左：中村健太郎さん)

株式会社セタ・インターナショナルは天王洲アイルにあるベトナムのオフショア支援会社。今回は株式会社セタ・インターナショナル執行役員 グローバル・エンジニアリング部コンサルティング室長の吉田謙さんとグローバル・エンジニアリング部 制作課の中村健太郎さんにお話を伺い、KOBIT の導入についてのインタビューをさせて頂きました。



Q.今の事業展開を教えてください。

6 年前まではいわゆる開発会社として展開をしておりました。しかし、技術者が不足してきたため、オフショアでベトナムを使い始めたのが 2010 年になります。そこからニーズがあることが分かり、2011 年からベトナムのオフショアを日本企業向けに展開しています。当時は 5 名でやり始めていたんですよ。それが今は 250 名の体制で展開しています。

250 名のほとんどがラボ契約になります。ラボ契約は、お客様の IT 部門に IT 技術者のチームを作って、お貸し出しする形式のことです。今は売上の 8 割がその事業になっています。3 年前にある広告代理店さんから「WEB 制作系はできない？」と問合せをいただき、[CodeShore](#) を展開しはじめました。

CMS の更新や、大型の CMS を移行、データ入れ替え、グローバルサイトの各国展開などを展開しています。

Q. 事業展開をしていく上で KOBIT 導入前に課題として感じていたことは何かありましたか？



ベトナムでのオフショアは日本からすると安価にコーディングをしてもらうことが
出来ますので、非常に喜んで頂いています。ですが、その一方で運用をしていく上で、
何を改善すべきか、どこから改善をするべきかという方向性をまとめきれないとき
がありました。

ベトナム側のメンバーはコーディングするので精一杯ですし、日本側でディレクショ
ンするスタッフも大量の仕事に対応しており手一杯、さて、どうしようかという課題
がありました。

Q. KOBIT を使ってどのように課題を解決していますか？



改善の方向性を定めようとするときに選択肢に上がったのは「WEB 解析士」資格の取得でした。大手広告代理店の中でも WEB 解析士の資格を取らせる動きがありますし、弊社でも取得をしていく予定です。しかし、それをやるのも時間がかかります。KOBIT ははじめから上級 WEB 解析士が考えたレポートになっていますので、とても信頼感がありました。解析士ならではの分析を定常的にやってくれるのはすごく大きな価値です。また、人が感覚や経験でやっていたものの一部をパターン化して機械化

する KOBIT を導入することで、人がもっと感覚的なところに注力出来るようになるのではないか、と思います。

Q.KOBIT を使ってみて率直な感想はいかがでしたか？

Google Analytics の要点が分からなくても、すぐ、簡単に、ビジュアルの良いレポートが生成されるというのがすごく良いなと思いました。また、うちのサービスに付加価値をつけたいということも思っていたので、ちょうど良いタイミングでした。

Q.逆に KOBIT を使っていて悪いところはありませんか？

そうですね。レポートの競合が 1 社なのが 2、3 社増えるといいですし、期間が 1 ヶ月ではなく、任意に設定出来ると良いなと思います。また地域別の分析では、日本だけでなく世界各国からのアクセスにも対応していただけるとさらに嬉しいですね。

Q.KOBIT を使うべきか、迷っている方がいると思いますが、その方にメッセージがあれば教えてください。



中村さん：Google Analytics は入れているけど、解析する時間がなかったり、どういう視点で見ているか、分からないと考えている人は非常に参考になると思います。

吉田さん：実は KOBIT は上司に説明するときにすごく良いんです。私が判断したのではなく、「解析士のプロが考案した KOBIT が判断した」と説明出来ますから。実際に KOBIT を使ってみて何か改善のために必要なシステム開発が発生しそうであれば、セタインターナショナルにお声がけください。（笑）